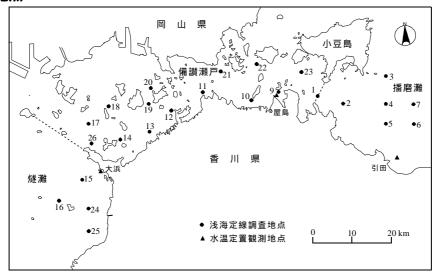
香川県漁海況速報 平成16年 6月 (H16- 3号)

香川県水産試験場

1.海況

1)観測地点



2)浅海定線調査

(1)調査日

平成16年6月3日(播磨灘) 2日(備讃瀬戸、燧灘)

(2)水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みからやや高め」、塩分は「やや低めからやや高め」、透明度は「平年並み」、溶存酸素は「かなり低めから平年並み」であった。

			水温	()		塩 分	(PSU)	透明度	溶存酸	素(ml/l)
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
	7地点平均值	19.1	18.2	15.7	31.9	32.0	32.5	10.4	5.22	4.76
播磨灘	平年値	18.3	17.1	15.4	32.0	32.1	32.3	10.4	5.43	4.62
	平年偏差	0.9	1.0	0.3	-0.2	-0.1	0.2	0.0	-0.21	0.14
	状 況	やや高め	かなり高め	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
	14地点平均值	18.7	18.5	18.5	31.7	31.8	32.0	4.2	5.08	4.91
備讃瀬戸	平年値	17.9	17.5	17.4	32.2	32.3	32.5	4.7	5.28	5.15
	平年偏差	8.0	1.0	1.1	-0.5	-0.5	-0.6	-0.5	-0.20	-0.24
	状 況	やや高め	かなり高め	かなり高め	やや低め	やや低め	やや低め	平年並み	平年並み	平年並み
	4地点平均值	21.0	17.9	16.4	32.0	32.9	33.3	9.7	5.08	3.63
燧 灘	平年値	20.3	16.9	15.2	32.4	32.7	32.8	10.6	5.58	4.48
	平年偏差	0.7	1.0	1.3	-0.4	0.2	0.4	-0.9	-0.50	-0.85
	状 況	やや高め	かなり高め	かなり高め	やや低め	平年並み	やや高め	平年並み	やや低め	かなり低め

平年偏差 = 平均值 - 平年值

平年値の算出期間 水温及び塩分:昭和47(1972)~平成13(2001)年度

透明度:昭和58(1983)~平成13(2001)年度

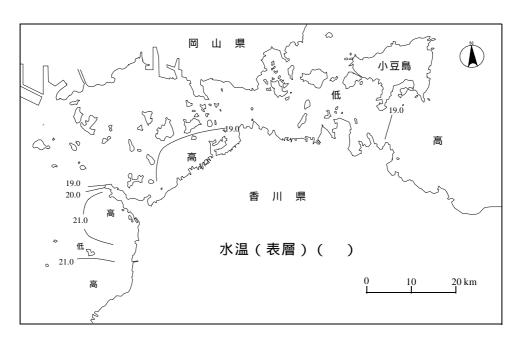
溶存酸素:昭和55(1980)~平成9(1997)年度

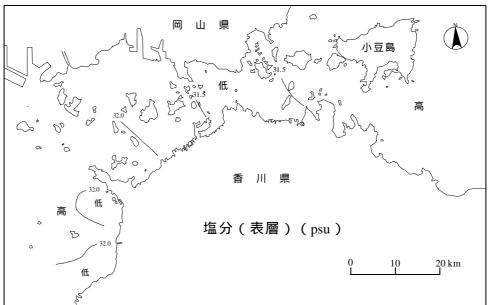
水温は、毎月1日の値に補正。

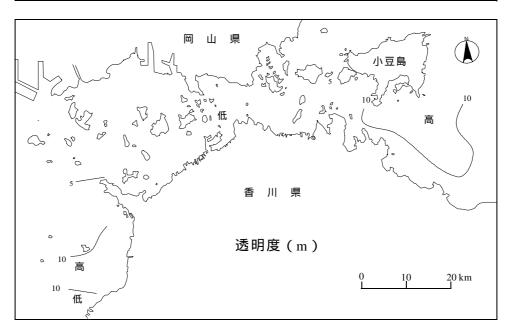
平年並み 0 平年偏差 < 0.6 (:標準偏差)

やや高め(やや低め)0.6平年偏差 < 1.3</th>かなり高め(かなり低め)1.3平年偏差 < 2.0</th>

著しく高め(著しく低め) 2.0 平年偏差







2)定置観測(水温)

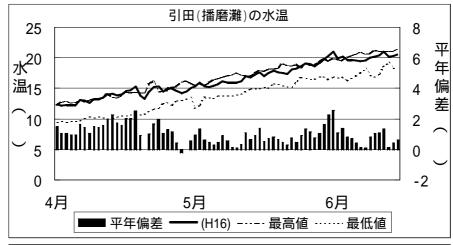
播磨灘(引田):5月は平年偏差が1 前後で推移し,6月上旬に一時2 を越えていたがその 後偏差が小さくなり,1 前後で推移している。

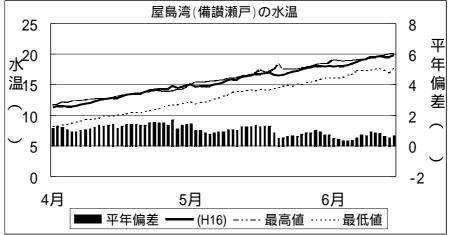
備讃瀬戸(屋島): 5月は平年偏差が1 前後で推移していたが、6月に入り偏差が少し小さく なり0.8 前後で推移している。

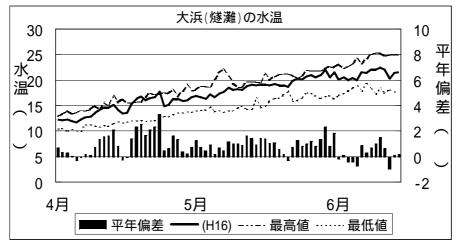
(大浜): 5月は平年偏差が0 前後から2 弱の間で変動していたが,6月に入り下がり1 から1.5 前後で推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜:平成元(1989)~平成14(2002)年

屋島:昭和50(1975)~平成14(2002)年







3)赤潮

播磨灘: 6月中旬、西部で Noctiluca scintillans の赤潮の発生があった。

備讃瀬戸:発生なし。 燧灘:発生なし。

4)卵稚仔

調査日:平成16年6月3日(播磨灘) 2日(備讃瀬戸、燧灘)

出現量 個(尾)/曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	99	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	197.50	5.90	0.00	0.00	0.30	0.00	7.00	5.40
備讃瀬戸平均	22.70	2.50	0.00	0.00	0.20	0.00	21.10	6.50
燧灘平均	401.10	37.70	0.00	0.00	0.00	0.00	10.00	6.40
総平均	157.60	11.63	0.00	0.00	0.17	0.00	14.77	6.17

対平年値

	カタクチィ	イワシ	マイワシ		
	卵	稚仔	卯	稚仔	
播磨灘平均	801.5%	233.2%	0.0%	0.0%	
備讃瀬戸平均	439.9%	82.2%	0.0%	0.0%	
燧灘平均	768.7%	363.2%	0.0%	0.0%	
総平均	738.9%	251.7%	0.0%	0.0%	

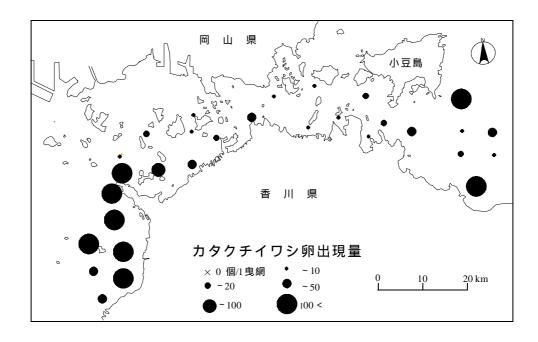
-:平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ:昭和55(1980)~平成15(2003)年度

マイワシ:平成5(1993)~平成15(2003)年度

各調査点のカタクチイワシ卵の出現量は、次のとおりである。



2.漁況

5月からの漁況は次のとおりである。

海	域	漁
播磨	濼	さわら流し刺網は漁期終了も近いが、今年の漁獲量は前年の 2~3倍と豊漁であった。
		大型定置網は6月1日から操業が開始され、マサバ主体に漁獲されているが、全般的に不漁である。 東讃のシラスの船びき網は6月1日から操業が開始されたが、 漁獲量は少なく不漁である。
備讃	瀬戸	底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、マアナゴ、 コウイカ類、小エビ類が漁獲されている。
		高松・庵治沖のイカナゴ込網のイカナゴの漁獲状況は4月中
		旬で漁が終了し、前年の約30%と不漁であった。フルセの漁 獲量は前年を上回ったが、シンコは大きく下回った。
r*	4#3	底びき網では主に小エビ類、シャコ、メイタガレイ、コウイ
燧	灘	カ類を漁獲している。 さより機船船びき網は約300 kg / 隻・日漁獲しているが、 ほぼ漁期が終了した。
		イワシ機船船びき網の大羽漁は6月10日、シラス漁は6月21日から操業が開始されるが、大羽の漁獲量は最初の共販で前年の約3倍と好調なスタートとなった。